

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回史跡大森勝山遺跡整備指導委員会
開 催 年 月 日	平成30年11月21日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後2時から午後4時まで
開 催 場 所	岩木庁舎2階多目的ホール
議 長 等 の 氏 名	委員長 工藤竹久
出 席 者	委員長 工藤竹久 委員 岩瀬直樹 委員 岡田康博 委員 関根達人 委員 須藤司 オブザーバー 県教育委員会文化財保護課 斉藤主査
欠 席 者	なし
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	文化財課長 成田正彦 同課課長補佐 神弘樹 同課主幹兼埋蔵文化財係長 岩井浩介 同課主事 東海林心 同課主事 赤石茜 同課主事 佐藤信輔 同課技師 工藤雅人 建設政策課 朝倉主査 (株)空間文化開発機構 田口研究員
会 議 の 議 題	(1) 史跡大森勝山遺跡整備事業について (2) その他
会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	別添議事録のとおり

【会議内容要旨】

議題（１）史跡大森勝山遺跡整備実施設計について

関根委員 : 環状列石を構成する石には、擦石や石棒などの石製品もあったと思うが、それらは復元するのか。また、縄文時代の遺跡では、森吉山の遺跡や、市内でも国吉の坂本館で石材による階段状の遺構が確認されている。もし可能ならば、今回実施設計中の階段部でも、これらを参考に自然石による階段で整備することも検討できないか。

事務局 : まず一つ目の質問について、確かに組石には石棒はないものの、擦痕のある擦石や台石、さらに少ないながらも石皿も確認されている。これらについては可能な限り、復元する方向で検討したいと考えている。なお、本遺跡の組石には赤変した安山岩の石材が、特徴的に配置されているものも確認されている。これらについても復元する方向で検討している。

次に、石材による階段整備だが、確かに森吉山ダム内の漆下遺跡などでは、階段状の遺構が確認されている。しかし、まず技術的な面で、自然石材は滑りやすく、踏面としての整備が難しい部分がある。堀越城跡等で実施しているように石畳にしてしまう方法もあるが、景観上悪目立ちすることが想定される。また、なにより本遺跡では現段階で、階段状遺構が確認されていないため、整備による誤解を与えてしまう恐れもある。よって、現段階では石材による階段整備は難しいと考えている。

工藤委員長 : 根城跡では階段の踏面がすり減っている。実施設計で示されたもの以外の他の案はないか。

事務局 : 階段の設計については、事務局内でも議論があったが、結果的に本設計の案の１、２に収斂されるものと考えている。先ほど申し上げたとおり、案１、２ともにメリット、デメリットがある。案１は所謂史跡整備ではオーソドックスな形であり、施工事例も多いが、本遺跡では整備地点や側面の押さえ方法により、盛土量が多くなり、施工が難しくなる。市としては躯体として骨格を組むことで、盛土量が少なく済み、また、踏面が痛んだ場合も踏板のみを交換できる案２が良いのではないかと考えている。

なお、今回の実施設計対象となる台地北東側では案の１、２どちらでも施工可能だが、来年度設計対象となる現階段ルートでは、案１の場合、多量の盛土が必要なうえ、その摺り付けも必要となるため、施工がかなり厳しいものとなる。この階段ルートでは、案２でも施工が難しく、場合によってはアンカーピンによる支持工追加など、必要最小限での杭工法の導入も検討せざるを得ないかもしれないと想定している。

岡田副委員長 : 工事費・維持管理費としては、案１と案２のどちらが高いのか。

事務局 : それほど差はないものと思われる。案1は盛土、案2は躯体作成に費用を要する。なお案2の方が、踏板ごとに交換が可能なので、費用的にも日常的な小修繕の範囲で管理しやすいものと考えている。

岡田副委員長 : スロープ部についてだが、スロープの延長はどのくらいか。

田口研究員 : 96mになる。

岡田副委員長 : それくらい長いと、介助者がいないと一人で登りきるのは難しいかもしれない。あくまでも介助者の補助のもと、身障者が登れるように、とのことで8%勾配とした、という感じか。

事務局 : ガイドラインに沿う、ということで8%としているが、実際は身障者の方が単独で遺跡を見学できるか、というと厳しい部分もある。このスロープ部を上っても、その先に管理用道路と併用する坂路が続く形となる。

岡田副委員長 : おそらく下りの方が危険となる。スピードが出てしまった場合に、はみ出でないよう路肩に工夫はするのか。

事務局 : 事務局でも縁石の設置などを検討したが、あまり効果がないと判断した。クマザサによる緩衝帯もあることから、最終的にはロープ柵などの簡易的な整備が一番なじむと想定している。なお、その場合は市単費での整備となる。

工藤委員長 : スロープの舗装はするのか。

事務局 : 他の園路と同じ、豆砂利舗装で統一する。

工藤委員長 : 環状列石の石材にはどのようなものがあるのか。

事務局 : 約1,200石のうち、1,000石以上と大半を占めるのは岩木山起源の安山岩。その他1号組石に花崗岩が約70石、流紋岩が約40石用いられている。

工藤委員長 : 石材の産地同定は行っているのか。

事務局 : 平成の再調査時に、組石の石材鑑定については弘前大学の柴先生にお願いし、肉眼による鑑定分類をしていただいた。しかし、剥片等を作成しての理化学的な分析に基づく産地同定などは実施していない。本遺跡の石材産地については、青森県埋蔵文化財調査センターの齋藤岳氏が研究を行っている。その研究成果によると、花崗岩は赤石川上流部の岩体を起源とし、その円磨

度から赤石川河口から七里長浜の近辺で採取されたものと想定されている。また、流紋岩については、相馬地区の棚内川や久渡川流紋岩で採取されたものと想定されている。事務局でもこの研究に基づき、赤石川河口付近と棚内川を踏査したところ、かなり類似する石材の存在を確認できている。

これらの石材のうち、安山岩については、これまでも委員会でご報告したとおり、岩木山赤倉沢の治山ダムから入手する方向で、林野庁と数年来協議を行っている。さらに花崗岩については赤石川を管理する県西北地域県民局と、流紋岩については棚内川を管理する県中南地域県民局と協議を開始しており、採取に係る許可は可能、との判断をいただいている。

岡田副委員長：大湯環状列石などでは露出展示している石材が黒変するなどの課題も生じている。本遺跡でも撥水处理などは行うのか。

事務局：本遺跡の石材は自然材とはいえ、あくまでも復元したものであり、劣化した場合は差し替えを行う方向で考えている。おそらく大規模な交換時期は、再整備時となると思うが、今回の整備過程において、供給源や入手手続きは確保できたものと考えている。

岡田副委員長：そうであれば、整備に係る記録をしっかりとっておいた方が良い。

工藤委員長：整備報告書は刊行するのか。

事務局：整備最終年度に作成予定。ただし、内容は整備全般に及ぶので、管理台帳的なものは別途作成しておく必要があると思う。

工藤委員長：しっかりと記録をとっておいてほしい。石材はやはり置くだけではだめなのか。

事務局：置くだけだと、万が一崩れた場合のリスクがあり厳しい。また、事務局でも基礎を埋めて全てアンカーピンで敷設することも検討したが、工事費もかかる上、差し替えも困難となるなど、課題が多い。現設計案だと、外れた場合も再設置や差し替えも可能と考えている。

工藤委員長：階段は場所によっては日陰になり、苔で滑りやすくなるかもしれない。

事務局：現在、設計対象としている地点は、日当たりが良い場所となっている。しかし、水がたまると苔は生えやすいかもしれない。

工藤委員長：どちらかというと乾燥による劣化の方が早いということか。

事務局 : おそらくそうなると思う。

議題(2) その他

事務局より、今年度実施した公開活用事業の実績と今後の整備計画について報告。

- ① 第5回大森勝山じょうもん祭り
- ② ちびっこ縄文講座
- ③ 津軽森林管理署への要望活動

工藤委員長 : じょうもん祭りでは地元町会からの多大な協力があったそうだが、大変だったのではないかと。

須藤委員 : 毎年のことであり、準備はそれほど大変ではないが、天候が一番大変だ。

事務局 : 今年は朝方まで大雨警報が出るなど、地元町会や学校にはご迷惑をおかけした。

須藤委員 : テントも設営しており、雨くらいなら問題なくやれると思っている。

事務局 : 今年は地元小学校からも多くのテントをお借りして開催させていただいた。

岡田副委員長 : 赤外線カウンターを設置していると思うが、今年の来訪者は。

事務局 : おおよその数値となるが、3,000人から4,000人くらいと思われる。

岡田副委員長 : 昨年度と比較するとどうか。

事務局 : 確実に増えていると思う。周辺の農家にお聞きすると、土日などは確実に駐車場に車が停車しており、他県ナンバーが多いと聞いている。

県斉藤主査 : 現在実施中の工事の現状変更許可期間は、今年の12月までか。

事務局 : 台地地区造成工事の工期分として、許可期間を来年12月までとしている。現在策定中の設計に基づく工事は、次年度申請したい。

工藤委員長 : 最後に確認だが、先ほどの実施設計における階段の案では、市としては案2を進めたいということによいか。

事務局 : 案2をベースに設計を進め、次回またお諮りするものとしたい。